

● 発刊・編集：福津市生活支援コーディネーター 清水・則武  
● 作成：福田

## おたがいサマーズ (第23号 平成30年11月28日)

協議体の話し合いテーマが移送支援から居場所づくりへと変わってから2回が過ぎました。そこで見てくるのは、地域毎の状況や需要といった「地域性」という点です。

「すでに始めている」、「始めたいが足りないものがある」、そもそも「自分たちの地域では優先度が低い」等々と、地域によりニーズの差は大きいと思われます。自分たちの地域でやるべきこと、やりたいことを具体的に進行していかななくてはならないと思います。

### 居場所づくり Q & A

なぜ、「居場所づくり」で助け合いが生まれるのか？

月1~2回のサロン活動にも楽しみはあるが、一人ひとりが利用者（お客さん）として通っているため困り事を話せる関係にはなりにくい。一方、居場所は誰でも、行きたい時に行けて、お互いが顔見知りになって会話をすることから、自然とそれぞれの困り事が見えてきて、助け合いにつながりやすい。

始める時に必要なもの、留意点などは？

すでにある居場所を見ると「自分には無理」と思いがちだが、最初は座る場所があれば十分。一番に必要なのは、物やお金ではなく「居場所が必要だ、つくろう」という“思い”と一緒にやる仲間。  
居場所は運営する人、通う人がそれぞれに自分に出来ることをして成り立ち、それが「張り合い」につながる場所です。必要なものが出来たら借りるのもよし、参加する人たちが持ち寄るようになっています。

なぜ、自分たちで「居場所」を始めたのか？

自分たちの老後や地域に「そういう場所が必要だな」、「欲しいな」と思ったので、その思いを共有する仲間と始めた。仕事の帰りや畑仕事の合間に集まっていたスペースが、次第に通りがかりの人も加わり、自然と居場所になった。他にも、助け合いの活動をする中で、高齢者には閉じこもりの人が多いことや、様々な困難を抱えながらも声を上げることができない人々を見て、人と人が接する場の必要性を強く感じたから。という方もいます。

どのような場所に「居場所」をつくれればいいか？

心身ともにつづぐことができ、実家のようなあたたかい雰囲気の中で交流できるのは、空き家も含めた民家であるとの意見もあります。  
集会所や公民館で開催すれば、皆が場所を知っていて家賃もかかりません。いつも決まった場所で開催する方が、行きやすい時に行きやすいです。

## こんなことをしています！

### サロン & 買い物ツアー in イオンモール福津

● 11月5日

協議体をきっかけに、社会福祉法人の協力のもと生まれたツアーを、宮司「にここサロン」が利用しました！参加者から「楽しかった！」、「また行きたい！」との希望が多数ありました。今後もこの買い物ツアーの取り組みは続きますので、是非ご活用ください！



南十字福祉会の「マイクロバス」です。乗り心地は満点！☘



午前10時、参加者とスタッフが宮司コミュニティセンターへ集合。



イオン2階のホールで健康体操をしたり...



イオン3階で昼食×談笑タイム！

### 子どもハロウィン

● 10月28日

「サンクス」で「子どもハロウィン」が開催されました。企画、準備、演出等はすべて子どもたちが担当。怖かわいいお祭りとなりました！



## 今後のスケジュール

協議体 第27回	12月21日(金)
市役所 別館大ホール	18:00~19:30
協議体 第28回	平成31年1月23日(水)
※ふくとびあ 健康プラザ	18:00~19:30

注意！



● 11月21日 大根販売  
南町での介護予防サロンに、いその農園さんが大根販売に訪れました。第2層生活支援コーディネーターの広渡さんと大根農家の磯野さんが協議体でつながり、買物支援が成立しました。もっともっと広がるといいですね！

## 問い合わせ ☘ 連絡先

- 市役所窓口 高齢者サービス課（中村、桑森、花田）：0940-43-8298
  - 生活支援コーディネーター 問い合わせ（清水、則武）：080-3180-8839（清水）
- 地区での取り組みに関するご相談、ご質問など、話し合いへの参加もしますよ！